

#### 4. 日本語教員資格取得の要件

日本語教員養成課程は、日本語を母語としない人に日本語や日本に関することを教える日本語教員となるために社会、文化、教育、言語に関する領域を学ぶ、文化庁、「日本語教員の養成に関する調査研究協力者会議」の『日本語教員のための教員養成について』に基づいて修了証発行に必要な単位が取得できるように教育課程を設けている。所定の単位を取得した者に卒業と同時に修了証が授与される。

日本語教員養成課程修了証を取得するためには、まず卒業要件単位数を履修した上で、資格取得に必要な単位を修得しなければならない。

日本語教育実習は前期と後期にそれぞれ配置しているため、海外研修、教職課程を履修している場合には、教職センターと調整し、後期での履修をするように。

##### ●日本語教員養成課程の履修条件

- 1) 登録料納入後に履修登録とする。
- 2) 留学生（日本語を母語としない者）が履修し、修了証の交付を受ける場合は、(財)日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験」において、原則としてN1（旧1級）に合格していることとする。
- 3) 合格証を提示すること。（教務部等でコピーします）

##### ●履修上の注意

- 1) 「日本語教授法演習」を履修する場合には、「日本語教授法」を履修済であること。また、「日本語教育実習」の履修前が望ましい。
- 2) 「日本語学演習」を履修する場合には、「日本語学概論」を履修済であること。

##### ●日本語教育実習を履修するには、次の条件を必要とする。

- 1) 「日本語教授法」、「日本語学概論」が履修済みであること。
- 2) 「日本語教育実習」の諸手続（実習費等）が完了していること。

日本語教員資格に関する教育課程

領域	区分A	区分B	授業科目名	配当年次	単位数		授業形態	備考
					必修	選択		
社会・文化・地域に関わる領域	社会・文化・地域	世界と日本	日本文化論1	1・2	2		講義	「日本語教員養成課程修了証」を取得する者は、国際コミュニケーション学部 の卒業単位を満たし、それぞれ下記 の条件を満たし、44単位以上を取得し なければならない。 区分Aより選択必修8単位以上
			日本文化論2	3・4	2		講義	
			地域文化事情1（日本）	1・2	2		講義	
			国際関係	3・4	2		講義	
			日中交渉史	2・3	2		講義	
		異文化接触	国際文化交流	1・2	2		講義	
			メディア表現論	3・4	2		講義	
			ポップカルチャー論	1・2	2		講義	
			国際経営	3・4	2		講義	
			国際金融	3・4	2		講義	
日本語教育の歴史と現状	日本語教育史	3・4	2		講義			
言語と社会	言語と社会の関係	教育社会学	1・2	2		講義	区分Aより選択必修6単位以上	
		社会心理学	2・3	2		講義		
		ビジネス・コミュニケーション	1・2	2		演習		
	言語使用と社会	スピーチ・コミュニケーション	1・2	2		演習		
		非言語コミュニケーション論1	1・2	2		演習		
		非言語コミュニケーション論2	1・2	2		演習		
		演劇表現論	2・3	2		演習		
	異文化コミュニケーションと社会	異文化コミュニケーション	1・2	2		講義		
		国際コミュニケーション	1・2	2		講義		
		言語理解の過程	言語理解論	3・4	2			講義
言語と心理	言語習得・発達	発達心理学	3・4	2		講義	区分Aより選択必修6単位以上	
		心身障害児教育I	2・3	2		講義		
		心身障害児教育II	2・3	2		講義		
	異文化理解と心理	心理学概論	1・2	2		講義		
言語と教育	言語教育法・実習	日本語教育方法論	2・3	2		講義	区分Aより、必修6単位を含め 選択必修12単位以上	
		日本語教授法	2・3	2		講義		
		日本語教授法演習	3・4	2		演習		
		日本語教育実習	4	2		実習		
	異文化間教育・コミュニケーション教育	教育心理学	1・2	2		講義		
		コミュニケーション概論	2・3	2		講義		
		情報機器利用プレゼンテーション演習	3・4	2		演習		
	言語教育と情報	教育方法・技術	3	2		講義		
		モバイル・コミュニケーション	1・2	2		講義		
		マルチメディア表現	3・4	2		演習		
言語に関わる領域	言語	言語の構造一般	言語学概論	2・3	2		講義	区分Aより、必修6単位を含め 選択必修12単位以上
		日本語の構造	日本語文法論	2・3	2		講義	
			日本語語論	1・2	2		講義	
			日本語学概論	2・3	2		講義	
			日本語学演習	3・4	2		演習	
			日本語音声学	2・3	2		講義	
		言語研究	日本語彙研究	1・2	2		講義	
		コミュニケーション能力	プレゼンテーション技術	1・2	2		講義	
			プレゼンテーション演習I	1	2		演習	
			プレゼンテーション演習II	2	2		演習	
日本語表現法	1・2		2		講義			

日本語教員資格に関する教育課程（平成31年度からの入学生）

領域	区分A	区分B	授業科目名	配当年次	単位数	必修 選択	授業形態	備考		
国際コミュニケーション	社会・文化・地域に関わる領域	世界と日本	日本文化論1	1・2	2		講義	「日本語教員養成課程修了証」を取得する者は、国際コミュニケーション学部の卒業単位を満たし、それぞれ下記の条件を満たし、45単位以上を取得しなければならない。		
			日本文化論2	2・3	2		講義			
			地域文化事情3（アジア）	1・2	2		講義			
			国際関係	3・4	2		講義			
		異文化接触	国際文化交流	1・2	2		講義			
			ポップカルチャー論	1・2	2		講義			
			国際金融	3・4	2		講義			
		日本語教育の歴史と現状	日本語教育史	3・4	2		講義		区分Aより選択必修8単位以上	
		言語と社会	言語と社会の関係	教育社会学	1・2	2			講義	区分Aより選択必修6単位以上
				社会心理学	2・3	2			講義	
	ビジネス・コミュニケーション			1・2	2		演習			
	言語使用と社会		非言語コミュニケーション論	1・2	2		演習			
	異文化コミュニケーションと社会	異文化コミュニケーション	2・3	2		講義				
	言語と心理	言語理解の過程	言語理解論	3・4	2		講義	区分Aより必修6単位		
		言語習得・発達	特別支援教育	2・3	2		講義			
		異文化理解と心理	教育心理学	1・2	2		講義			
	言語と教育	言語教育法・実習	日本語教育方法論	2・3	2		講義	区分Aより、必修6単位を含め選択必修12単位以上		
			日本語教授法	2・3	2		講義			
			日本語教授法演習	3・4	2		演習			
			日本語教育実習	4	2		実習			
		異文化間教育・コミュニケーション教育	国際コミュニケーション	1・2	2		講義			
		言語教育と情報	教育方法	3	2		講義			
	モバイル・コミュニケーション		1・2	2		講義				
	言語に関わる領域	言語の構造一般	言語学概論	2・3	2		講義	区分Aより、必修6単位を含め選択必修12単位以上		
			日本語文法論	2・3	2		講義			
		日本語の構造	日本語論	1・2	2		講義			
			日本語学概論	2・3	2		講義			
日本語学演習			3・4	2		演習				
日本語音声学			2・3	2		講義				
言語研究			日本語彙研究	1・2	2		講義			
コミュニケーション能力		プレゼンテーション技術	1・2	2		講義				
		日本語表現法	1・2	2		講義				